

# CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB

Passion & Green & Action. 2007-2008



発行 千歳セントラルロータリークラブ

会長 入口博美 / 副会長 白木松敏 / 幹事 佐々木俊英 / 会報編集責任者 武田伸也

〒066-8520 北海道千歳市本町4丁目4 ホテル日航千歳 1F TEL・FAX.0123-26-5788 ccrc@f3.dion.ne.jp

http://www17.plala.or.jp/ccrc/

## 会長あいさつ

会長 入口 博美

10月23日の指宿公園で行いました植樹の移動例会には、多数の方々に参加をさせていただき有り難うございました。

皆様の熱い情熱で植樹が実施され、きっと来春は桜が満開となるのではと期待しております。植樹会場での花見会は無理かと思いますが、来春は何らかの形で皆さんと指宿公園へ出向きたいと考えています。ご協力有り難うございました。

さて、地区大会に参加してですが 参加された皆様本当に有り難うございました。

従来、札幌市での開催が多い地区大会でありましたが、今回は函館市の開催ということで、遠く300キロ離れた所まで足を伸ばしての参加になりました。皆様には時間的に、また金銭的にもご負担をおかけしましたことに、感謝とお詫びを申し上げます。また更には、今回は「観楓会も兼ねて行ってみよう」という呼びかけをさせて頂いたところ、13名の方の参加を頂き、会長として大変うれしく思います。「会長の面子を立てて…」という心遣いもありましたでしょうが、感謝いたしております。

さて、地区大会では、表彰の部において、斉藤直前会長が永年100%例会出席の15年表彰を受賞されました。そして、松坂会員におかれましてもロータリー財団表彰マルチプル・ポール・ハリス・フェローを受賞されております。おめでとうございました。

そして、地区委員会の展示ブース会場では、坂井会員が委員長を勤めるIC委員会と田口会員が頑張っておられるWCS委員会が活躍され、大変ご苦労様でした。我がクラブを代表して、一生懸命務められておりますことに、感謝申し上げます。有り難うございます。

次年度は、札幌市で開催されますが、井上年度を盛り上げるためにも積極的に参加したいものと考えております。新入会員の方には、是非ロータリアンとしての雰囲気を感じてもらいたいと思いますので、次回の参加をよろしくお願い致します。

本日の例会は、和田パスト会長が担当される「会員増強」についての会員卓話となっております。

全世界のロータリークラブ共通のテーマでもありますが、

例会出席状況 (2007年11月6日)

会員数	32名
会員出席者数	26名
出席率	81.25%
欠席者数	6名
無断欠席者数(欠席者数内)	2名
ゲスト・ビジター出席者数	0名
出席者数総計	26名

わがクラブにおいても、「会員増強」は恒久的な重要課題の一つであります。

わがクラブを安定経営するためには、38名の会員数が「損益分岐」となります。クラブの安定経営、奉仕事業の経費捻出など、数値的な安定数の会員確保が必要となります。

また、会員増強には、数値的な判断と共に、大切な意味が含まれています。

それは、「会員親睦」です。より大勢の会員、より多方面の会員と面識を図り、親睦を持つということは、唯一の自己学習と考えるからであります。個々に高い能力をお持ちの皆様ですが、会員間の親睦を重ねることで、益々社会的意識の向上に役立たれると思います。

是非とも会員増強に、ご協力願います。

## 幹事報告

幹事 佐々木 俊英

- 回覧しております月信をご覧ください。千歳RCと合同で、新潟県中越地震復興支援の募金活動をポスフル千歳店前で行ったことが記載されております。また新入会員紹介欄に柏田会員・山本会員・清水会員が載っております。また、今月号のロータリーの友の24ページにも2クラブ合同復興支援が載っております。
- 千歳市における「自衛隊の体制維持を求める期成会」にクラブとして加入しました。
- 地区WCSよりタイ・チェンマイ チェックダム支援事業に対し、現地関係RCからお礼状が届いています。
- 指宿公園の植樹作業が民報に掲載され、佐藤会員が

ら皆さんへ植樹掲載の民報紙をプレゼントです。

- 次年度理事役員の選挙について  
2008～2009 年度の会長エレクト・副会長・副幹事・会計を選出するにあたり、立候補および推薦を受け付けましたが、無きにあたり、会長一任により指名委員を決定し、指名委員会を設置いたします。12月4日の年次総会までに選出にあたります。

—— 入口会長から指名委員を発表

指名委員長 齊藤博司

委員 井上英幸、武田伸也、須藤丈、大野馮、羽生有三、和田次彦（以上7名）

## 委員会報告

- ロータリー財団委員長 田口 廣  
11月は財団月間です。会費と一緒に徴収しております財団寄付各会員100ドルを各自振込みします。

## ニコニコBOX

- 入口博美会員：今年度の事業「緑の事業」が無事に中盤を終えられました。
- 白木松敏会員：本社事務所が手狭になりこのたび新築。10月27日に引越しました。
- 齊藤博司会員：指宿公園での植樹作業が民報に載り、私が写真に載っていました。
- 山本啓子会員：私も載りました
- 清水清光会員：私も頑張りました。
- 大淵渡会員：駅前の「友好の桜」に続いて指宿公園での植栽作業に当社を指名していただきありがとうございます！大きく育つことを念願しています。
- 佐藤文雄会員：テレビでお馴染みの岸井さんの講演会『福田内閣の課題と政局のゆくえ』が開催、参加よろしく！
- 井上英幸会員：函館の地区大会を欠席しました。20日は北広高校の30周年でした。協賛会長を仰せつかり生徒360名と来賓180名の前で壇上から肅々と立派なお話をすることができました。祝賀会では市長・議長に「良かった」と誉められて…。(自画自賛！)
- 武田伸也会員：地区大会・観楓会では、拙いツアーコンダクターを務め、皆さんにご迷惑かけましたが、楽しい会になりました。ありがとうございました！
- 田口 廣会員：地区大会ではありがとうございます！WCS事業では来年5月にタイの我がクラブ協力事業が完成します。一週間の予定で検証ツアーがあります。皆さん、参加してみましょ！またジャカルタのWCS事業も予定しています。



## 本日のプログラム

担当 会員増強・退会防止・会員選考委員会  
委員長 和田 次彦  
会員卓話「会員増強」



「会員増強」、これは大変難しいことです。

これには、3つのパターンがあります。

1つ目は、人と人のつながりで強制的に加入させられる。  
2つ目は、クラブの活動の趣旨に賛同し、自発的に入会する。本来的に一番望ましい形なのですが、なかなかそういう訳にはいかない。

3つ目は、間違っただけで入会してもらう。

「エッ！ここはライオンズではないんですか？」。これは深見会員が入会の際の実話です。ライオンズの方に勧誘されて、出席してしまったのがココの例会であったということです。(笑)

いったいロータリークラブって何なのですか？と聞かれた時に、実は私も答えようがない訳です。何を考えて何をやっている団体ですか？という、一般的には「たいしたこと」をしている訳ではなくボランティアですよ。「去年はこういうことをやって今年はこんなことを考えています」と答えるのが一般的です。でも、これだけでは、どうもピンと来ないのです。

問題となるのが『ボランティア』という言葉の範囲があまりにも広過ぎ、抽象的で掴みどころがないのです。話している私がそうなのですから聞く方も分からない。

広辞苑では、「社会事業や公共の仕事に対して特に協力する人、心を寄せて援助してくれる人」「自分から積極的に慈善事業などに対して労力奉仕すること」と定義づけられています。

さて、「ボランティア団体ですヨ」のうちのクラブでは何をやっているかという、「今年は、緑の事業をやっている、まちを緑にしたい」と説明する…。しかし、これだけの説明に賛同していただくには無理があります。

ここは、やはり人とのつながりで無理矢理にでも入ってもらう。これが一番手っ取り早くて確実な方法になるのです。千歳にはこの種の団体が4つあるので、人間の引っ張り合いです。早くツバをつけて、何が何でも引っ張ってこなく

てはいけないのであります。

「あなたに言われたら入らざるを得ないなあ」と言われるのが一番強いのですが、そんな人間を見つけるのが大変で、限界があり、どうしても大きな団体、積極的に動いている団体に負けることになってしまいます。

千歳 RC では、工業クラブの会員間で、引っ張ってこられるのでしょうか。ナンともし難い人とのつながりですから、仕方ないわけで、ウチは指をくわえてしまっているのが実情です。

先ほど、会長の言われたとおりなのです。

人がいなければ目的は達成できないし、会は維持できない。

このような時、「特色のある事業の展開」がひとつの手であり、勧誘する場合の強力なセールスポイントになるのではないのでしょうか。

話は変わりますが…。

前は人口問題についてお話させていただきましたが、千歳市としては最低 10 万人の人口がいないと各公共施設の維持が大変なわけです。

同じ経済的圏域である千歳、恵庭に住もうという時に、最近は、どうも恵庭に住むという声が大きくなりつつあります。そこには、大きな要素が 2 つあり、1 つは、地価、アパート・マンションが賃料が安い。2 つ目は、各都市こぞって子育て支援というのを掲げていますが、恵庭は、この支援策が相当進んでいる傾向にあります。

「ブックスタート」という幼児対象の本の読み聞かせ等を行うというのがありますが、他の町では、これを大いに推し進めて、その施設は大変な賑わいを見せています。

若い子供たちが住み、子育てをする若い世代が住む町は、活気があり賑わいがありますから、地域をつくることにとって大事なことであり、まちの発展につながっていくと思います。

「ブックスタート」にして、千歳市においても格別な、そして強靱であり、他の町で類を見ない子育てプランを構築する必要があります。

…さてクラブの問題に戻りますが、人の伝手で新入会員引っ張るのにも限界があるわけで、それにプラスして「うちの会ではこんなこともやっています」ということを特色付ける必要があるかと思えます。

その特色付けが何であるか？ この場では名案が浮かびませんが、特色のある事業を展開していくには、これもやっぱり資金です。(笑)

すべては「会員増強」、これに繋がりますので、種々ご意見を頂きたいと思えます。

会員増強は皆さんの一人ひとりの腕にかかっています。皆さんの人脈に期待して、話を終わります。